

R6	2025.03.28 公開資料
	卒業時満足度調査（令和6年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部・大学院）



1. アンケートの実施

実施	令和7年2月上旬から3月11日
対象者	令和6年度卒業生・修了生 115 人（国際教養学部 61 人 教育学部 51 人 大学院 3 人）
回答者	96 名(回答率 83%)【内訳】国際教養学部+大学院 50 名（78%）教育学部 46 名（90%）
方法 質問 1-5	下記の7つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。 質問1～5については、下記の5段階で評価を行った 評点5（大変満足している）、評点4（満足している）、評点3（どちらとも言えない）、評点2（満足していない）、評点1（まったく満足していない）
質問 6	質問6「以下はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」 1 理論的な思考力 2 コミュニケーション力 3 物事を多角的・多面的に考える視野 4 教養・知識 5 専門的な知識と技術 6 考え方の柔軟性 7 多文化・異文化理解 8 自ら課題を立てて、解決する力 9 その他
質問 7	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。

2. 集計結果

2.1 質問1～5の解析

回答	学部	評価点分布						全学
		1	2	3	4	5	平均値	
質問1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	0	3	16	20	11	3.78	4.07
	教育学部	0	0	3	22	21	4.39	
質問2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	1	3	8	12	26	4.18	4.41
	教育学部	0	1	2	9	34	4.65	
質問3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	2	5	15	10	18	3.74	3.71
	教育学部	0	2	15	25	4	3.67	
質問4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	5	7	15	12	11	3.34	3.93
	教育学部	0	1	5	7	33	4.57	
質問5 大学に入学し、4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか	国際教養学部	2	7	6	15	20	3.88	4.11
	教育学部	0	0	4	21	21	4.37	

- ・ 質問1は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で4.07の評価を示している。評価5大変満足していると評価4満足している、を合わせて、77.1%（=74/96）となっている。この値は、昨年度（2023年度）の72.5%よりも改善された
- ・ 質問2の学友関係については、全学平均で4.41の高い評価を示している。
- ・ 質問3「施設・設備」の評価は全学平均3.71であり、2023年度の3.23に比べて高くなっている。自由記述欄に記載の様にプロジェクターへの不満が高いことが分かる。
- ・ 質問4の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で4.57と、高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部の就職支援の評価は3.34である。
- ・ 質問5の「大学に入学し4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか」では、評価5と評価4を合わせて、80%（=77/96）の学生が「大きく成長した」と答えている。

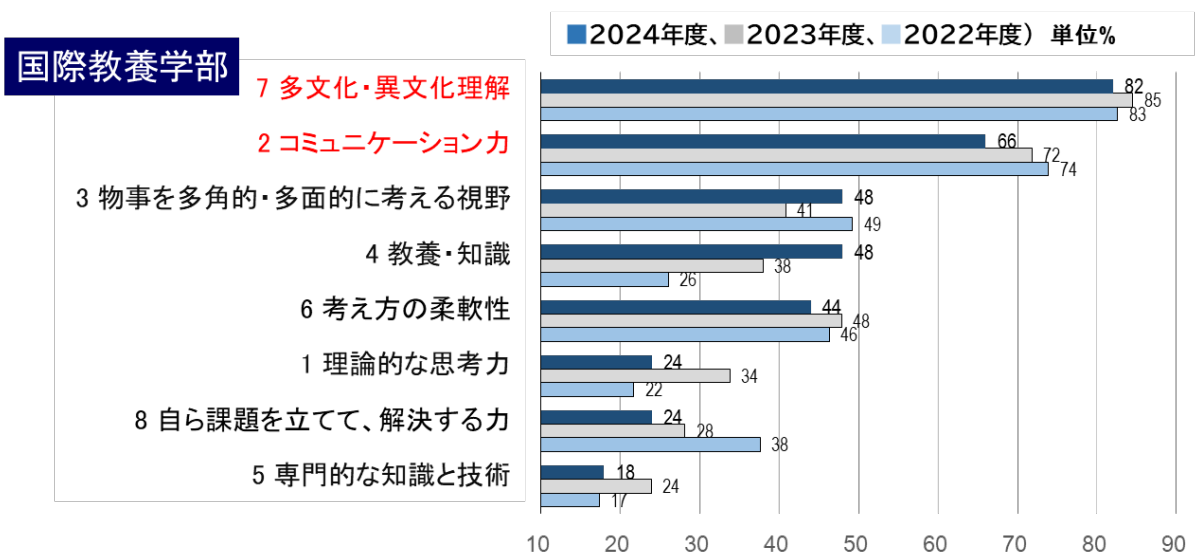
回答	年度	評価点分布（国際教養学部、教育学部、大学院）					
		1	2	3	4	5	平均値
質問 1	2022 年度	5	5	29	48	30	3.75
	2023 年度	7	5	16	42	32	3.85
	2024 年度	0	3	19	42	32	4.07
質問 2	2022 年度	1	5	15	24	72	4.38
	2023 年度	3	4	11	17	67	4.38
	2024 年度	1	4	10	21	60	4.41
質問 3	2022 年度	8	17	48	30	14	3.21
	2023 年度	3	4	11	17	67	3.23
	2024 年度	2	7	30	35	22	3.71
質問 4	2022 年度	10	14	24	29	40	3.64
	2023 年度	9	19	30	28	16	4.04
	2024 年度	5	8	20	19	44	3.93
質問 5	2023 年度	5	8	15	23	50	4.01
	2024 年度	2	7	10	36	41	4.11

2.2 質問 6 の解析

質問 6 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）

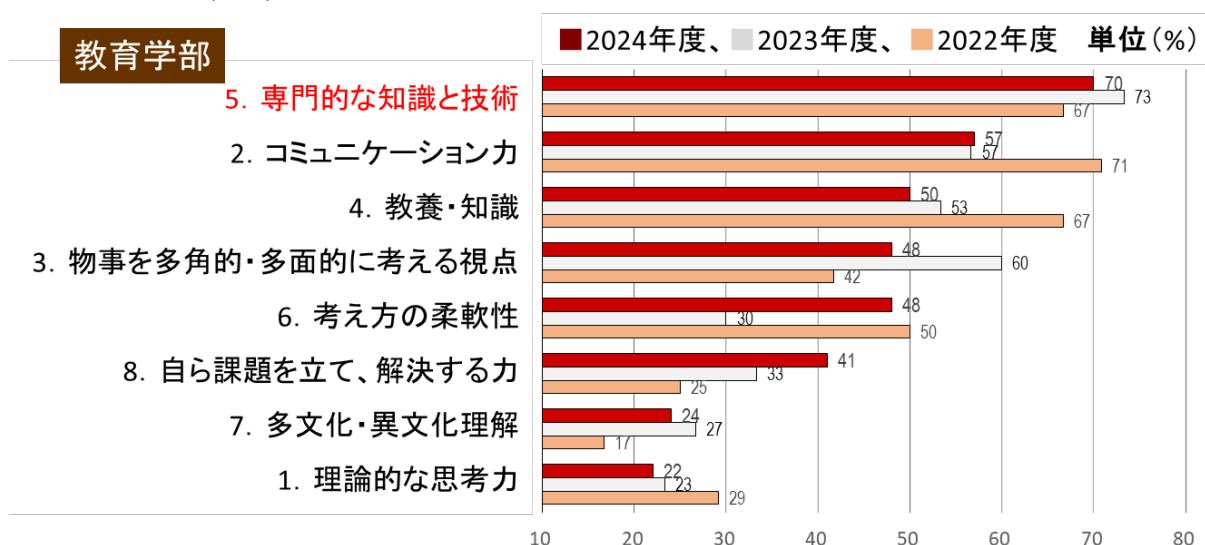
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力
4 教養・知識	9 その他
5 専門的な知識と技術	

回答	選択項目	割合（%）							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2022 年度	22	74	49	26	17	46	83	38
	2023 年度	34	72	41	38	24	48	85	28
	2024 年度	24	66	48	48	18	44	82	24
教育学部	2022 年度	29	71	42	67	67	50	17	25
	2023 年度	23	57	60	53	73	30	27	30
	2024 年度	22	57	48	50	70	48	24	41



- 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解（82%）」「2 コミュニケーション力（66%）」が例年並みに高くなった。

- 一方で、「5 専門的な知識と技術 (18%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力(24%)」「1 理論的な思考力(24%)」は、ここ数年、低下傾向にある。



- 教育学部では、「5 専門的な知識と技術 (70%)」が最も高い。
- 「2. コミュニケーション力 (57%)」「4 教養・知識 (53%)」「3. 物事を多角的・多面的に考える視野 (48%)」が、ここ3年間で最も低くなった。
- 一方で、「6 考え方の柔軟性 (48%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力 (41%)」が、ここ3年間で最も高くなった。
- 「1 理論的な思考力 (22%)」「7 多文化・異文化理解 (24%)」が低くなっている。

2.3 質問7 (自由記述欄) の回答

国際教養学部	- 楽しかったです！ - TOEIC speaking & writing も宮崎で試験が受けられるようにしてほしい。 - キャリアデザインでは外部の人の呼ぶ際に、さまざまな職種の人を呼んでほしいと思った。 - 外務省、大使館、外資系企業などの英語を使う仕事をしている人の話が聞きたいと思った。韓国語と中国語だけでなくスペイン語やフランス語などの講座もあるといいと思った。 1番満足しているのは、図書館の本が20冊借りられることと本のリクエストが出来ることです。 - コロナ禍でできなかった分、もっと学生が参加できるイベントがあればいいなと思った。 - 英語での学習をグループワーク形式で行うことで、英語力だけでなくコミュニケーション力も高めることができたのが良かった点だと思います。 - 留学制度はとても助かりました。ただエレベーターを全階設置してほしい (要望) - 売店が遠すぎる。 - もっと就活支援に対するサポートがあればいいと思った。公務員の面接対策や、面接カードの書き方などをキャリアデザイン1から学生に教えるべきだと思う。正直、公務員講座の勉強よりも自分では対策が難しいグループディスカッションや小論文対策をしっかりやるべきだと思う。また、TOEICだけでなく、IELTSやTOEFLのテストも実施すべきだと思う。TOEICのL&Rだけでなく、
	(大学院生) - 先生方には本当にお世話になりました。充実した2年間でありがとうございました。

教育学部のアンケートに自由記述欄なし